



江中

「協働的な学び」の2学期に

校長 大地本央仁

40日間の夏休みが終わりました。今年の夏は、猛暑ではありましたが、大きな災害を伴うような豪雨もなく胸をなで下ろしているところです。しかしながら、コロナウイルス第7波?となるのでしょうか、島根県内の陽性者数が今までにない速さで増加しており、県内の学校教育にも少なからず影響している様子です。生徒・保護者の皆さんにとって、どんな一ヶ月半だったでしょうか。

いよいよ令和4年度2学期がスタートします。日々状況が変化している中で、今学期も保護者の皆さまには様々な場面におきまして、ご理解とご協力をお願いすることになると思います。よろしく願いいたします。

さて、表題にありますとおり、始業式で生徒たちに話した概要を以下のとおりお伝えします。

協働的な学び

2学期は大きな学校行事・学年行事が計画されています。体育祭、2年生の修学旅行及び3年生の職場体験、市新人総体、合唱コンクール、生徒会役員選挙と盛りだくさんです。

5月の学校だよりで「令和の日本型学校教育」について、簡単に載せさせていただきましたが、2学期は正にその成果を発揮できる行事等がたくさんあります。

特に、体育祭や合唱コンクールでは、下に示すような「協働的な学び」が充実するような体験的な活動です。ぜひ、一人一人を尊重したうえで異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出してほしいと思います。

それぞれの学びを一体的に充実し 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

②協働的な学び

- ◆「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、**探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら**、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要
- ◆**集団の中で個が埋没してしまうことのないよう、一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す**

5秒で幸せになれる

1学期の終業式の日、「5秒で幸せになれる」と題して、あいさつの大切さやその力が将来に役立つことについて Zoom を使って全校の皆さんにお話しさせていただきました。

本校の三つの約束「着席」「あいさつ」「返事」の中にもあり、当たり前前（まへ）のことが当たり前（まへ）にでき、子供たちの財産になるようにとの願いがあります。2学期も心が通う居場所となるよう心がけていきたいものです。

P T A 環境整備

去る8月21日（日）に、PTAによる環境整備がありました。当初予定を変更して、保護者の方のみの参加で行いました。お陰様で、2学期を気持ちよく迎えることができました。大変、ありがとうございました。

